

グリーンカルチャー



こらか

発行 | 甲賀農業農村振興事務所
農産普及課

住所 | 〒528-8511
甲賀市水口町水口6200

電話 | 0748-63-6126

発行責任者 | 野田 枝里子



伸長中のブドウ



ナシ



発芽直後のイチジク



ブドウ



生育中のナシ



イチジク

甲賀の果物づくり

甲賀地域では、イチジク・ブドウ・ナシを合わせて、約3.5haで果樹が栽培されています。

果樹栽培は、初期投資がかかる、栽培管理が難しいというイメージがありますが、新しい栽培技術で低コスト化、早期成園化を図りながら、地域の仲間と切磋琢磨し、果物づくりを行っています。



果物づくりに取り組む仲間を募集中です！

甲賀地域では、現在、イチジク18名、ブドウ22名、ナシ13名の生産者が果樹栽培を行っています。定年帰農者、法人経営体が中心で、近年では若手の新規栽培者の参入もみられます。

それぞれ、「甲賀いちじく部会」、「甲賀ぶどう栽培研究会」、「甲賀なし栽培研究会」という組織があり、研修会や現地視察を行い、栽培技術の習得、果実品質の向上を目指しています。

販売先は、地元直売所への出荷が中心で、イチジクは市場出荷も行われています。昨年度からは、生産量の増加が大きいブドウで地元量販店への出荷も始まりました。

それぞれの果物の特徴

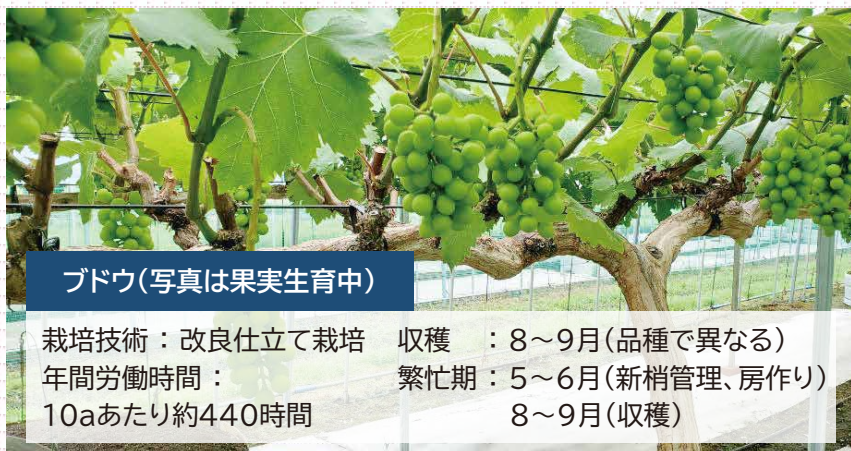


ナシ(写真は花が満開の時期)

栽培技術：低樹高栽培
収穫：8～11月(品種で異なる)
繁忙期：4月中旬～5月下旬
(受粉、着果管理、防除)
8～11月(収穫)
年間労働時間：10aあたり約300時間

イチジク(写真は収穫期)

栽培技術：簡易雨よけ栽培
収穫：8～10月下旬
繁忙期：6～7月(新梢管理)
8～11月(収穫)
年間労働時間：
10aあたり約420時間



ブドウ(写真は果実生育中)

栽培技術：改良仕立て栽培
収穫：8～9月(品種で異なる)
年間労働時間：繁忙期：5～6月(新梢管理、房作り)
10aあたり約440時間 8～9月(収穫)

ご興味のある方は、甲賀農産普及課へご相談ください。

農作業中の熱中症を予防しましょう！

令和4年の農作業中の死亡事故は、全国で238人です。そのうち「熱中症」が原因の事故は、全体の12.2%を占め、近年、農作業死亡事故に占める割合が増えています。

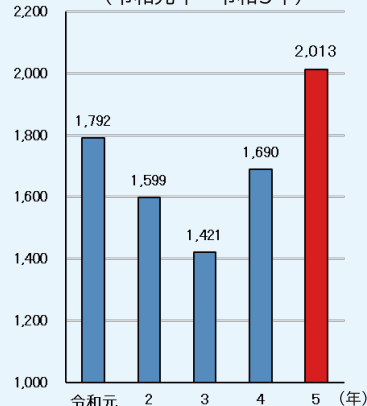
また、令和5年の夏期(5～9月)において、農作業中の熱中症によって救急搬送された方が全国で2,013人と直近5年間で最も多くなっています。



農作業中の熱中症対策のポイント

- 高温時の作業が避けられるよう、作業計画を立てましょう。
- なるべく単独作業は避けましょう。
- 20分おきに休憩&水分補給しましょう。

全国における農作業中の熱中症による救急搬送人員数(令和元年～令和5年)



市場出荷を目指す新規花き栽培者募集！

甲賀地域では地域の特性を生かしたリンドウ、小ぎく、中輪ぎくの栽培を推進しています。

花き栽培の特徴

- 獣害の心配が比較的少なく、狭い土地でも栽培できます。
- 防除などこまめな管理が必要となりますが、栽培には大きな機械を必要とせず、収穫物も軽いため、比較的誰もが取り組みやすい品目です。
- いずれの品目も市場出荷ルートが整備されているため、確実な販売先があります。

花き新規栽培研修会 参加者募集中(無料)

日時:9月5日(木) 13:30~17:00(予定)

集合場所:JAこうか本所玄関前

(13:00~受付)

内容:リンドウ、小ぎく、中輪ぎく栽培における特徴説明とほ場見学

申込み締切り:8月23日(金)

申込・問合せ先:

甲賀農産普及課 Tel:63-6128

甲賀地域農業センター Tel:62-3270



リンドウ

美しい青紫色が特徴で、貴重な青色花材として仏花からアレンジメントまで幅広く使われます。夜間冷涼で、粘質で保水・保肥力のある酸性土壌を好み、水田の転作品目として栽培が可能です。



小ぎく

仏花に欠かせない花材としてお盆から年末まで需要があり、「甲賀の小菊」として出荷・販売されています。7月咲きから12月咲きまでの作型があり、11月咲きまでは露地栽培が可能です。水はけのよい土壌条件を好みます。



中輪ぎく

お盆向け出荷の場合、5月中下旬から栽培が始まり、水稻育苗ハウスの後利用ができます。電照による開花調節を行うため計画的な収穫が可能です。プランターを活用した「少量土壌培地耕」により、土壌条件によらず初心者でも栽培できます。

3品目の一般的な栽培暦 (リンドウは早生、小ぎくは8月咲きの作型です。)

	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
リンドウ (2年目)	萌芽		※早生	収穫	礼肥				春肥	土かけ	※定植は1年目に実施	
小ぎく (8月作)	挿し芽	定植			収穫			移親植株	親株管理			→
中輪ぎく			直挿し	摘蕾	収穫							



農大卒業生インタビュー



「毎日、今日も楽しかった!と仕事を終えられます。」
そう笑顔で語るのは、水口町今郷でイチゴを栽培する金谷絵里さん。

子供の手が離れたあとは自分自身が好きなことを
したい、と農業を志されました。
就農に関する相談を重ねる中、子供が好きな「イチ
ゴ」での就農を決意し、農業大学校就農科に進学さ
れました。



「農業の経験がなく、実家も非農家だったので、農業を基礎から学べる農業大学校への進学を決めました。机上だけでない実践的な授業で学ぶことができました。イチゴを含めて多品目について学んだので、就農後他農家とのコミュニケーションにも役立っています。何よりも、同じく農業を志す仲間と出会えたことが大きな収穫です。卒業した今でも同期生とは連絡を取り合っており、栽培が忙しい時期に助けてもらったこともあります。」と話す金谷さん。



卒業後は、甲賀市水口町の650㎡のハウスでイチゴを栽培・直売されています。

「栽培管理は忙しいですが、お客さんのおいしい!など感想を直接聞くことが励みになっています。」

今後はさらに収量・品質を向上させること、また、ゆくゆくは6次化にも取り組むことが目標だそうです。今後のご活躍が楽しみです。

滋賀県農業大学校のご案内

滋賀県立農業大学校(専修学校)では、専門技術・知識を学ぶことができ、在学中に各種資格の取得が可能です。農業で生計を立てたい方、県農業大学校で学んでみませんか。

	修業 年限	定員 (名)	主な応募要件	専攻	受付期間 (一次募集)
養成科	2	30	高等学校卒業または卒業見込みの者	水田農業、茶、施設園芸 果樹、畜産	令和6年11月22日～ 12月4日(当日消印有効) *1
就農科	1	15	20～65歳かつ就業後に県内で農業 経営開始が確実な者	園芸(野菜、花き、果樹)	令和6年10月28日～ 11月15日(必着)*2

その他に推薦募集 *1、二次募集 *1,2が予定されています。定員に達した場合、二次募集は実施されません。

※詳しくは、県農業大学校(0748-46-2551)、または当課までお問い合わせ下さい。

この印刷物は、グリーン購入法適合用紙を使用しています。